

怒りが溢れる世界で静けさを選ぶ

あるワイドショーで感情的なトピックについて議論するために3人のゲストが呼ばれました。ゲストのうちの2人と司会者の間で議論は白熱し、お互いに怒鳴り始めました。(このような状況はテレビやラジオでは当たり前だと思いますが、その後何が起きたかをお話ししたいのです。)言い争いが数分間続いた後、司会者は口論を辞め、沈黙を保っていた3人目のゲストに意見を求めました。彼女の物静かで思慮深い言葉が突然混乱していた場に秩序をもたらしました。それだけでなく彼女の態度が他のゲストの甲高い叫び声よりも信頼感を与えました。

現代社会は、あらゆる方面から雑音が聞こえてくるので、大声で怒鳴った者が勝つと決めつけている人たちがいます。これは「きしむ車輪は油をさしてもらえ」という格言のとらえ方と言えます。しかし実際には、穏やかで冷静なコミュニケーションがもっとも効果的で、大きな影響を与えます。

これは目新しい発見ではありません。もっとも偉大なビジネス書と捉えられることもある聖書には、強さと弱さ、言葉の畏について多くのことが書き記されています。例えば箴言 15:1では「柔らかな応答は憤りを静め、傷つける言葉は怒りをあおる。」とあります。また、箴言 16:23でも「知恵ある心は口の言葉を成功させ、その唇に説得力を加える。」と記されています。

このような警告はテレビやラジオのワイドショーだけに限ったことではありません。何年前に、主要都市に集まった市民活動家たちがオリンピック開催地として立候補する可能性について議論をしました。多くの参加者がこのような一大イベントを開催することに関連する問題に焦点をあてたので、議論は否定的な内容となりました。

2時間以上議論が繰り広げられた後、議長が最近このグループに加わったメンバーを指名しました。彼はまだ一言も意見を述べていなかったで、「テッド、あなたは何も言っていないんですが、あなたはどのように考えますか?」と聞きました。参加者全員が静まり彼の言うことに耳を傾けたので、彼は穏やかに「牛がなければ、納屋は清潔だが…」と答えました。

たったの2~3分でしたが、そこにいた全員がテッドの言葉を理解するのに1時間ぐらいかかったような気がしました。突然誰かが「そうだな。それが一番正しい!」と言いました。その瞬間から議論は別の方向に向かいました。テッドは箴言 14:4から引用して答えたことは言いませんでしたが、その意味は明確でした。牛を育てなければ、ミルクはできません。ですから重

要なことを成し遂げる際には、避けることのできない課題にも前向きに取り組んでいくことが、よりよい仕事環境の条件になってくるのです。

聖書では神が好む私たちとのコミュニケーション方法はとても静かに語りかけることだと言っています。大声で叫ぶことや劇的なメッセージを与えることはありません。第一列王記 19 章は一連の奇跡を通して神に用いられたエリヤの話です。エリヤは体も心も疲れ果て、卑劣な女王イゼベルが彼を殺そうとしていると知り、そこから逃げました。荒野を旅する中で力を取り返し、ホレブの洞穴でエリヤは神様の指示を待ちました。すると激しい風が吹き、地震が起きました。12 節には「地震の後に火が起こった。しかし、火の中にも主はおられなかった。火の後に、静かにささやく声が聞こえた。」と記されています。

神様は注意深い預言者だけが聞くことができる静かな言葉を通してエリヤに語りかけることを選ばれました。ビジネス業界において、これは簡単に応用できます。製品やアイデアを売るときには、声を張り上げるよりも優しい声で勧めるほうが有効です。大切な決断のために祈る時、神はあなたに神のささやきが聞こえるまで待つことを望まれるでしょう。

もっと深めるために:

1. ワイドショーや会議などで、怒鳴りあっている人たちをみてあなたはどのように感じますか?
2. 大声で怒鳴れば自分に反対している人たちを説き伏せたり影響を与えることができると信じている人がいるのはなぜだと思いますか?その考え方に賛成ですか?どうしてですか?
3. とても穏やかで落ち着いた態度で効果的に自分の主張を伝えている人を見たことがありますか?そのようなやり方は効果的でしたか?
4. 神があなたに何か大切なことを静かに、時にはささやくように語りかけたことはありますか?それはどんな体験でしたか?あなたはそれにどう応えましたか?

参考聖書箇所リストです。参照ください:

箴言 16:24・箴言 17:14、28・箴言 18:13、21・箴言 21:23・箴言 22:11・箴言 25:11、15・マタイ 5:3-8

この発行はリック・ボックスによって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超党派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ハイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。